国際ロータリー第2530地区（旧承認番号 3992）

KORIYAMA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT 2022-2023

Rotary　イマジン ロータリー

郡山ロータリークラブ ウェブサイト
http://k-rc.main.jp/

第19回　2022年12月1日

国歌斉唱「君が代」 ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」 ロータリーの目的　四つのテスト唱和

ロータリー情報委員長　堀川紀房君

会長挨拶

佐藤尚宏 会長

皆さん、こんにちは。あっという間に師走になって、急に寒くなって参りました。

先ほど役員理事会がございまして、各種審議事項が承認されました。その中でも12月15日にクリスマス家族会が審議を通りました。令和5年の新年会の件、インターシティミーティング、職場訪問を1月26日に笹の川酒造に行く予定が本日通りました。次年度の役員理事の上程もありまして、これは年次総会で発表させて頂きます。

過日11月27日に地区のクラブ規定委員会セミナーが二本松でありまして、クラブの変更等を私と橋本幹事、平松副会長で参加して参りました。今後ビジョン委員会等を通して、当クラブの定款細則の変更を会議して決めたいと思いますので、宜しくお願い致します。明日の朝4時にワールドカップの日本とスペインの対戦です。勝てば予選突破。負ければ敗退。引き分けで条件付きでどうなるかというところです。是非頑張って、もう一度日本を盛り上げて頂きたいなと思い、可能な方はテレビの前で声援を送って下さい。

クラブ規定委員会セミナー報告

平松敏郎 副会長理事

参加しましたセミナーの中で、国際ロータリーの関係で変更があったのは、テリトリーを無くすということでした。当クラブの年次報告書を見ると、テリトリーが書いてありますが、それが無くなります。もう一つは出席報告をやめるということです。メーキャップが年度を通じて可能になったということで、毎回毎回出席報告をするのはあまり意味を持たないんじゃないかということでした。ただ当クラブがやっている出席報告は、今すぐ止めなくてはいけないというものでもないと思いますし、他クラブに行ったということが分かるのも悪くないと思っています。標準RC定款とか推奨のRC細則というのがありますので、追々当クラブでもビジョン委員会等を通じて整理して行きたいと思います。

幹事報告

橋本　勝 幹事

日曜日に定款変更のセミナーがありまして、定款変更が3年に1回あるというのが分からない他クラブが一杯あって、私は本当にびっくりしました。設立から変わっていないところもあるということで、我々は幹事から報告を受けて3年に1回定款変更を行っており、当郡山RCは素晴らしいクラブだなとつくづく思いました。

親睦活動委員会報告

横山　大 委員長

12月誕生日祝い

1日／伊藤基文君　14日／柿木田修君
15日／遠藤喜志雄君　16日／山口　仁君
18日／若狭秀則君

12月結婚記念日祝い

1日／福内浩明君　2日／滝田金之介君
5日／渡邊邦浩君、鈴木淳策君
15日／小田修史君、佐藤尚宏君
22日／今泉正規君　23日／杉田観稚夫君
24日／幕田宙晃君

12月15日6時からクリスマス家族会を行います。アトラクションも準備しておりまして、三部構成で最後には大抽選会を行います。無理のない範囲で結構ですので、プレゼントのご協賛を頂けますと大変ありがたいです。協力頂ける方は12月8日までにこういう物を当日持って来ますとか、こういう物を協賛しますというところを事務局に教えて頂ければと思います。宜しくお願いします。

ニコニコBOX委員会報告

佐藤　聡 委員長

◎本日も例会へのご参加、ありがとうございます。
島貫支社長の卓話、楽しみにしています。　佐藤尚宏君
◎本日は第19回例会です。宜しくお願いします。
また、島貫支社長の卓話楽しみに！　橋本　勝君
◎島貫支社長、卓話楽しみにしておりました。
宜しくお願いします！誕生祝いありがとうございます。
山口　仁君
◎本日、卓話をさせて頂きます。宜しくお願い致します。
島貫賢一君
◎誕生祝い、ありがとうございます。　遠藤喜志雄君
◎ご無沙汰しています。今日は結婚？年のお祝い、ありがとうございます。　小田修史君
◎結婚記念日のお花、ありがとうございました。
池田達哉君、福内浩明君

プログラム紹介

山口　仁 委員長

本日の卓話は、東部ガス㈱福島支社支社長の島貫賢一君にお願いをしております。宜しくお願い致します。

会員卓話

「自己紹介」

東部ガス㈱ 福島支社
支社長　島貫賢一君

昭和42年5月10日秋田県秋田市において生を受けました。現在55才です。家族構成は妻と中学3年の娘が埼玉県草加市で暮らしております。郡山に赴任してからは、休日は近くの山に行って山歩きを楽しんでいるところです。近くに沢山の山がありますので、行く場所に困ることはありませんし、同じ山でも季節やルートによって都度違う景色がありますので、非常に楽しく健康的な生活を送っています。冬の間に高山植物等の勉強をして、来年はそちらの方も楽しみたいなと思っています。小学校・中学校は公立学校に通い、中学までは野球をやっておりました。その後、地元秋田の工業高専に進学しました。工業高専という、あまりメジャーではない進路を中学時代に選んだのですが、当時はバイクや車とか機械ものが好きで、高専に入ってからは希望が叶って、アルバイトでバイクを手に入れ、ツーリング等を楽しむごく普通の少年でした。卒業後、東部ガスに入社し、水戸・秋田・いわき・郡山・秋田・土浦・東京そして郡山と引っ越しを繰り返しました。

東部ガスは秋田県は秋田市、福島県は郡山市といわき市、茨城県は水戸市・土浦市・守谷市というところで都市ガス事業を営んでいる会社です。全部で大体20万軒のお客様を持っていて、ここ郡山では35,000軒のお客様に都市ガスをお使い頂いています。社員数は全社で495名、その内82人が郡山の福島支社に勤務しております。福島支社は大町に構えております。全国的には公営も含めて都市ガス事業者は195社ありますが、その中で15番目くらいの規模の会社です。1997年、2000年に秋田に転勤しましたが、4年の間に4回の転居をしておりますが、これは熱量変更といって、都市ガス業界での一大事業があった時期になります。熱量変更というのは、都市ガス事業者の都合で熱量・比重などにより13種類に区分されたガスを、国の天然ガス化促進により、都市ガスの高カロリー化を2010年までに完了するというもので、この事業は供給するガスの種類を変えるだけではなくて、お客様先に設置されている全てのガス器具の部品交換が必要だったため、非常に多くの人手を要する事業でした。全社社員495名プラス150名ぐらいの組織で熱量変更事業を行い、それを東部ガスの事業所を順番に回っていたので、4年間で4回の異動になりました。郡山は1999年頃に熱量変更を行っております。

日本のガス事業は、1872年（明治5年）10月31日に横浜瓦斯という会社が横浜の馬車道に設置されたガス灯にガスを供給して点灯したというのが日本のガス事業の始まりです。この時は、照明用の燃料としてガス事業がスタートし、郡山市内にもまだ数基設置されています。

創業当時、照明用の燃料だけではなかなか地方には事業としては広まらず、ガス竈という今でいうガスコンロみたいなものが誕生してから地方へと広まって参りました。郡山では横浜のガス灯の点灯から40年後、今から110年前1912年（大正元年）に福島瓦斯郡山支店としてガス会社が開設されました。福島瓦斯郡山支店として事業を開始した2年後に第一次世界大戦が始まり、ガスの原料だった石炭が高騰しました。役所の規制を受けていたガス料金が自由に値上げできず、経営不振に陥って、開設から5年後の1917年に郡山支店のガス事業が当時順調に業績を伸ばしていた東北有数の電力会社の郡山電気という会社に合併されました。この郡山電気というのが初代の橋本萬右衛門が経営していた会社だということで、この時点で郡山のガス事業が地元経済界により経営されることとなりました。その後、郡山電気は時代の流れの中で合併を繰り返しまして東部電力という名前に改称されます。1936年に今度は大日本電力に合併吸収され、東部電力を合併した大日本電力は、社会的な重要性を増した電力経営に専念するということで、1937年ガス事業を分離して朝日瓦斯という新会社を立ち上げました。これが東部ガスの福島県郡山市での起源です。それからは、現在まで85年もの間、体制を大きく変えずにお世話になっております。創業当時のお客様軒数は586軒、ガス管の延長が14kmでしたが、日中戦争・第二次世界大戦を経て、1948年に東部ガスと社名を変更して今に至っています。高度成長期や、東日本大震災・幾度の水害を乗りこえ、郡山市の発展と共に供給区域も拡大しながら現在では35,000軒、ガス管の延長が530kmと業容を拡大して来ました。ガスの利用用途としては台所・お風呂・空調・発電・産業用等、時代に応じて対応して参りました。ガス事業というのは今でも規制を受けておりまして、供給区域というのが国の認可が必要となっている事業です。郡山の現在の供給区域は面積で言うと5.6%程です。本宮市の工業団地も一部供給地域です。西部工業団地・東部ニュータウンも供給させて頂いております。供給しているガスの原料も時代と共に変わってきており、最初は石炭、その後ナフサ、今では海外から輸入した液化天然ガスを気化したガス導管より受けて、熱量調整をして供給しています。新潟と相馬に受入基地がありまして、そこが郡山とガス導管で繋がっていて、受入基地で気体にした天然ガスを弊社の工場で受け入れて、ガスに臭いをつけて熱量調整をして市内に供給をしています。LNGをそのまま気化したガスには臭いがありません。そこで万が一ガスが漏れた場合にすぐ気付くことができるように、ガスに臭いを付けて送出しています。LNGの日本の輸入先としてはオーストラリア・マレーシア・カタール・ロシア・アメリカです。これから訪れる2050年のカーボンニュートラル、脱炭素というところに向けて我々都市ガス事業も大きな変革が必要になって来ています。カーボンニュートラルに向けては引き続き郡山の皆様のお力を借りて、挑戦して参りたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

出席報告

有賀隆宏 委員長

総員／103名　出席／54名　欠席／49名
出席率／52.43%　前回修正率／54.35%
他クラブ出席／9名

次回 第21回例会
令和4年12月15日㈭
クリスマス家族会
郡山ビューホテルアネックス

一般財団法人 太田綜合病院
副理事長　太　田　健　三
〒963-8022　郡山市西ノ内2-6-18
☎ 925-0088　FAX 931-1155

福島テレビ 株式会社
郡山総支社長　木　村　　毅
〒963-8014 郡山市虎丸町2-11
郡山虎丸町第一生命ビル3階
☎ 931-8000　FAX 934-4832

会報第19号(通算3396号)2022.12.8発行 / 編集責任者:橋本 勝　編集:クラブ会報委員会　委員長 矢部 浩樹
副委員長 石井 祐一／委員 青木 誠・伊藤 清郷・大山 勇起